

平成30年度

事業計画並びに収支予算書

ゆめクラブ神奈川・マスコットキャラクター



ゆめクラブ神奈川  
公益財団法人神奈川県老人クラブ連合会

## 平成30年度ゆめクラブ神奈川事業計画

神奈川県は65歳以上の人口は222万人、人口構成比では24.5%（平成29年1月現在）であり、現時点では全国に比べ2.9ポイント下回っておりますが、今後、全国平均を上回るスピードで超高齢社会へ移行することが予測されており、平成42年度には実に30%に迫ることが見込まれております。

こうした中で、高齢者自身が地域社会の一員として自立し、生きがいを持って健康で家族や地域の人々と共に過ごしていくことは、何よりも大切なことでもあります。同時に、高齢者は地域社会の中で、これまでに蓄積された経験と知識を活かした地域づくりの担い手として、様々な場面で積極的な社会参加が求められています。

老人クラブは、「生活を豊かにする楽しい活動」と「地域を豊かにする社会活動」を活動の軸として実践していますが、これからも地域を共に支え合う高齢者の社会活動の場である老人クラブの存在は、会員のみならず地域の高齢者の絆を結ぶ場としてますます重要なものとなり、活動の担い手である会員への期待も高まっています。

平成30年度におきましても、ゆめクラブ神奈川の更なる「健康・友愛・奉仕」の活動の推進を目指し、会員増強に努め、市町村老人クラブ連合会と連携を図りながら、「元気で、仲良く、楽しく、豊かに生きる」のスローガンのもとに次の事業を実施してまいります。

### I 事業の基本方針

- 1 『か』 かがやいて元気に生きる
- 2 『な』 なかまを広げて仲良く生きる
- 3 『が』 学習・参加で豊かに生きる
- 4 『わ』 わくわくニコニコ楽しく生きる

## 平成30年度事業計画

### Ⅱ 実施事業

#### 1 『か』かがやいて元気に生きる

##### (1) 高齢者健康づくり実践教室の実施

高齢者の健康づくりは介護予防そのものであることから健康づくり実践教室を開催し、新たな知識の習得や実践方法を学び、地域で普及する人材の育成を行います。

2ブロックで開催 各60人程度

##### (2) ブロック老連で行うニュースポーツ交流の集いへの支援

事業活動基金を活用し、ゆめクラブ会員に人気のあるニュースポーツをブロック老連単位で行い、隣接市町村老連会員との交流と健康づくりを目指します。

6ブロックで開催

##### (3) 健康チャレンジフェアかながわへの参加

健やかで、心豊かな暮らしの実現と健康寿命の延伸を目指し、食生活・運動などの健康増進の取り組みを推進するため、健康づくり実践活動の普及・啓発を目的に開催される「健康チャレンジフェアかながわ」実行委員会に参画します。

##### (4) 介護予防・生きがいつくり支援事業（県委託事業）

地域に密着した組織として、健康づくり活動、生きがい活動、友愛活動等に取り組む老人クラブ活動と連携・協働により、健康寿命日本一に向けた高齢者の健康づくり、生きがいつくりによる介護予防を推進します。

###### －ゆめクラブ大学－

老人クラブ会員以外の人を含め、高齢者を対象として、県内6箇所「ゆめクラブ大学」を開講し、健康体操等健康づくり、生きがいつくり等に係る講座を実施します。

###### －地域支援事業担い手養成研修事業－

老人クラブ会員以外の人を含め、高齢者が地域支援事業の担い手として活躍するために必要な知識や技能を習得し、社会参加の普及促進を図ります。

##### (5) シニアフェスタ2018への協賛及び参加（協賛事業）

かながわ福祉サービス振興会で開催する健康とスポーツの集い「かながわシニアスポーツフェスタ2018」に協賛するとともにクラブ会員の参加を呼びかけます。

## 2 『な』なかまを広げて仲良く生きる

### (1) 友愛チーム活動事業の推進（県補助事業）

在宅等の高齢者仲間の生活や孤独感の解消等相互の支援活動をする友愛チームを編成し推進します。

449チーム

### (2) 友愛活動等支援事業の実施（県補助事業）

多くの高齢者が、地域社会の中で生きがいのある生活を送れるよう、会員以外の高齢者も含め、拡がりのあるクラブ活動の展開を図ります。

31市町村老連

### (3) 友愛チーム資質向上研修会の開催

友愛チーム員及び関係者が集い、その活動の資質向上のため、ブロック単位の研修会を開催します。

6ブロック（湘南ブロックは、2か所で開催）

### (4) 地域活動支援事業

市町村老連が行う次世代、他団体との交流活動事業及び老人クラブ開放・地域連携モデル事業、高齢者による交通安全、防災、防犯等地域の安全安心の普及啓発並びにパソコン活用事業への支援を行います。（1老連1事業を選択）

- |                     |                             |        |
|---------------------|-----------------------------|--------|
| ① 老人クラブ開放・地域連携モデル事業 | （@30千円）                     | } 31か所 |
| ② 地域の安全安心支援事業       | （市老連 @30千円）<br>（町村老連 @20千円） |        |
| ③ パソコン等活用事業         | （@50千円）                     |        |

### (5) ゆめクラブ社会奉仕の日統一活動事業の実施（全老連との連携事業）

本事業の発案老連として、9月20日を中心とした美化活動・環境にやさしい活動への参加を各市町村老連に呼びかけます。

### (6) 老人クラブ「100万人会員増強運動」の推進

平成26年度から30年度までの5か年計画である全老連の会員増強策『老人クラブ「100万人会員増強運動」』の5年目として推進します。

## 3 『が』学習・参加で豊かに生きる

### (1) 情報

#### ア 広報紙『ゆめジャーナル神奈川』の発行

会員の日常生活やクラブ活動に役立つ健康・生きがい情報を提供します。

（年2回）

イ 市町村老連実態調査の実施

市町村老連の組織状況及び活動状況について調査します。

(2) 学 習

ア 役員研修会の開催（県補助事業）

県老連役員・評議員・監事を対象に当面する課題について研修と協議を行います。（県老連主催、年2回うち1回は地域活動推進員会議と合同開催）

イ ブロック別単位クラブリーダー・新任会長等研修会の開催

県下6ブロック7か所において、単位老人クラブの新任会長等のリーダーを対象に、基本事項の習得に加え活動事例の研究や専門家の講演等を行い、老人クラブリーダーの資質の向上を目指します。（ブロック内老連が主管）

ウ 女性指導者研修会の開催（県補助事業）

会員の過半数を占める女性会員の中からリーダーの養成を図るための研修会を開催します。

エ 地域活動推進会議研修会の開催

市町村老連の運営及び事業を担当する男女各1名の活動推進会議構成員を対象に、現場に即した当面の課題について研修を行います。

（県老連主催 年1回）

オ 市町村老連事務局長・担当者会議の開催

県老連と密接な、市町村老連及びブロック老連幹事の窓口である事務局長・担当者を対象に、情報交換や事務処理等に関する会議を行います。

（県老連主催 年1回）

カ 市町村老連の指導育成・6ブロック老連連絡調整

市町村及び6ブロック単位で行う様々な行事に対して、企画及び調整、情報提供などを行いながら事業の充実支援を行います。

キ 関東甲信越静ブロックリーダー研修会への参加

期 日 平成30年7月5日(木)～6日(金)

場 所 東京都品川区

ク 全老連主催研修会への参加

全老連が主催する研修会及びセミナー（中央セミナー、女性リーダーセミナー、健康づくり中央セミナー、在宅福祉を支える友愛活動セミナーなど）に役職員等が参加し研鑽を図ります。

#### 4 『わ』わくわくニコニコ楽しく生きる

##### (1) ゆめクラブ神奈川の基盤の強化

###### 役員会の開催

公益財団法人神奈川県老人クラブ連合会の運営及び事業執行のため、役員会、委員会等を開催します。

- ・役員会 : 理事会、評議員会、監事会
- ・委員会 : 編集委員会、事業活動基金管理委員会等

##### (2) 県老連功労者のつどいの開催

単位クラブ、友愛チーム及び市町村老人クラブ連合会等において功労のあった方々に対してその功績を称え顕彰します。

期 日 平成30年11月16日(金)

場 所 「ホテルキャメロットジャパン」(予定)

##### (3) 賀詞交歓会の開催

老人クラブ関係者及び関係機関、団体、企業等が一堂に会した賀詞交歓会を行います。

期 日 平成31年1月10日(木)(予定)

場 所 「ホテルキャメロットジャパン」(予定)

##### (4) 各種催しへの参加

###### 全国老人クラブ大会への参加

全国規模で行われる大会に参加し、同時に開催される活動交流部会において当面する老人クラブの課題に対しての事例発表、意見交換を行います。

期 日 平成30年12月4日(火)～5日(水)

場 所 沖縄県

#### 5 関連機関・団体との連携強化

##### (1) 行政機関との連携・協働

高齢者福祉及び老人クラブ活動事業の充実を目指し、全国老人クラブ連合会等関係団体と呼応しながら運動を展開するとともに、老人クラブ活動による健康と生きがいづくりを促進するため、神奈川県等行政機関と連携・協働を図ります。

##### (2) 高齢者健康・福祉・文化団体・企業等との連携

かながわ福祉サービス振興会等様々な高齢者の活動グループと連携を図り、老人クラブ活動の活性化を図ります。

## 平成30年度 行事予定表

日	曜	4月	曜	5月	曜	6月	曜	7月	曜	8月	曜	9月
1	日		火		金		日		水		土	
2	月		水		土		月	全老連事務局長 会議	木		日	
3	火		木	憲法記念日	日		火	全老連事務局長 会議	金		月	
4	水		金	みどりの日	月		水		土		火	
5	木		土	こどもの日	火		木	関プロリーダー 研修(東京都)	日		水	
6	金	正副理事長会①	日		水		金	関プロリーダー 研修(東京都)	月		木	
7	土		月	正副理事長会②	木		土		火	全老連リーダー 中央セミナー	金	正副理事長会⑤
8	日		火	関プロ会長会議	金	正副理事長会③	日		水	全老連リーダー 中央セミナー	土	
9	月		水		土		月		木		日	
10	火	関プロ事務局長 会議	木	監事会	日		火		金		月	
11	水		金		月		水		土	山の日	火	
12	木		土		火		木		日		水	
13	金		日		水		金	正副理事長会④	月		木	
14	土		月		木		土		火		金	
15	日		火	理事会① 全老連女性代表 者会議	金		日		水		土	老人の日
16	月		水		土		月	海の日	木		日	
17	火		木		日		火		金		月	敬老の日
18	水		金		月		水		土		火	編集委員会①
19	木		土		火		木	基金管理委員会 役員・活動推進員合 同研修会 関プロ活動推進員等 研修会(栃木)	日		水	
20	金		日		水		金	関プロ活動推進員等 研修会(栃木)	月		木	全国一斉「社会 奉仕の日」
21	土		月		木		土		火	全老連活動推進 担当者セミナー	金	
22	日		火		金		日		水		土	
23	月		水		土		月		木		日	秋分の日
24	火		木	女性会議研修会	日		火		金		月	
25	水		金		月		水		土		火	
26	木		土		火		木		日		水	
27	金		日		水		金		月		木	
28	土		月		木		土		火		金	
29	日	昭和の日	火		金		日		水		土	
30	月		水		土		月		木		日	
31			木	評議員会① 理事会②			火		金			

日	曜	10月	曜	11月	曜	12月	曜	1月	曜	2月	曜	3月
1	月	共同募金街頭活動	木		土		火		金		金	正副理事長会⑩ 理事会④
2	火		金	正副理事長会⑦	日		水		土		土	
3	水		土	文化の日	月		木		日		日	
4	木		日		火	全国老人クラブ 大会(沖縄県)	金	仕事始め	月	全老連会長・事務 局長会議	月	
5	金	理事会③ 正副理事長会⑥	月		水	全国老人クラブ 大会(沖縄県)	土		火	全老連会長・事務 局長会議	火	
6	土		火		木		日		水		水	
7	日		水		金	正副理事長会⑧	月		木		木	
8	月	体育の日	木		土		火		金	正副理事長会⑨	金	編集委員会②
9	火		金		日		水		土		土	
10	水		土		月		木	賀詞交歓会	日		日	
11	木	全老連女性リー ダーセミナー	日		火	基金管理委員会 役員研修会②	金		月	建国記念日	月	
12	金	全老連女性リー ダーセミナー	月		水		土		火		火	
13	土		火		木		日		水		水	
14	日		水		金		月	成人の日	木		木	
15	月		木		土		火		金		金	評議員会②
16	火		金	功労者のつどい	日		水		土		土	
17	水		土		月		木		日		日	
18	木		日		火		金		月		月	
19	金		月		水		土		火		火	事務担当者会議
20	土		火		木		日		水	全老連健康づく り中央セミナー	水	
21	日		水		金		月		木	全老連健康づく り中央セミナー	木	春分の日
22	月	関プロ連絡協議会(千 葉県木更津市)	木		土		火		金	全老連健康づく り中央セミナー	金	
23	火	関プロ連絡協議会(千 葉県木更津市)	金	勤労感謝の日	日	天皇誕生日	水		土		土	
24	水		土		月		木	女性会議研修会	日		日	
25	木		日		火		金		月		月	
26	金		月		水		土		火		火	
27	土		火		木		日		水		水	
28	日		水		金	仕事納め	月		木		木	
29	月		木		土		火				金	
30	火		金		日		水	全老連友愛活動 セミナー			土	
31	水				月		木	全老連友愛活動 セミナー			日	



# 収支予算書(正味財産増減計算ベース)

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益事業費	その他事業費	法人会計	合計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
<b>1. 経常増減の部</b>				
(1)経常収益				
基本財産運益	25,000	0	0	25,000
基本財産受取利息	25,000	0	0	25,000
特定資産運用益	1,000	0	0	1,000
特定資産受取利息	1,000	0	0	0
受取分担金	4,623,000	0	4,622,000	9,245,000
受取分担金	4,623,000	0	4,622,000	9,245,000
事業収益	900,000	715,000	0	1,615,000
機関紙収益	720,000	0	0	720,000
各種行事参加収益	180,000	715,000	0	895,000
受取補助金	14,655,000	0	0	14,655,000
受取地方公共団体補助金	14,655,000	0	0	14,655,000
受取民間補助金	0	0	0	0
受取委託費	6,445,000	0	0	6,445,000
受取地方公共団体委託費	6,445,000	0	0	6,445,000
受取寄付金	2,500,000	420,000	180,000	3,100,000
受取寄付金	1,900,000	420,000	180,000	2,500,000
受取事業活動基金	500,000	0	0	500,000
受取賛助会費	100,000	0	0	100,000
雑収益	255,000	0	51,000	306,000
受取利息	5,000	0	0	5,000
福利協会退職年金	0	0	1,000	1,000
雑収益	250,000	0	50,000	300,000
<b>経常収益計 ①</b>	<b>29,404,000</b>	<b>1,135,000</b>	<b>4,853,000</b>	<b>35,392,000</b>
(2)経常費用				
事業費	32,332,000	1,228,000	0	33,560,000
給料手当	8,501,000	324,000	0	8,825,000
臨時雇賃金	189,000	0	0	189,000
賞与引当金繰入	666,000	27,000	0	693,000
退職給付費用	253,000	11,000	0	264,000
法定福利費	1,414,000	53,000	0	1,467,000
共済掛金	121,000	5,000	0	126,000
福利厚生費	118,000	4,000	0	122,000
会議費	397,000	0	0	397,000
旅費交通費	1,378,000	0	0	1,378,000
通信運搬費	459,000	0	0	459,000
減価償却費	0	0	0	0
消耗品費	483,000	60,000	0	543,000
印刷製本費	587,000	0	0	587,000
新聞・図書費	10,000	0	0	10,000
修繕維持費	335,000	0	0	335,000
賃借料	1,979,000	717,000	0	2,696,000
保険料	2,000	0	0	2,000
諸謝金	265,000	25,000	0	290,000
支払手数料	137,000	2,000	0	139,000
租税公課	9,000			9,000
支払負担金	150,000	0	0	150,000
支払助成金	14,775,000	0	0	14,775,000
委託費	74,000	0	0	74,000
支払利息	0	0	0	0
雑費	30,000	0	0	30,000

(単位:円)

科 目	公益事業費	その他事業費	法人会計	合 計
管 理 費	0	0	5,446,000	5,446,000
給料手当	0	0	2,093,000	2,093,000
賞与引当金繰入	0	0	162,000	162,000
退職給付費用	0	0	64,000	64,000
法定福利費	0	0	351,000	351,000
共済掛金	0	0	30,000	30,000
福利厚生費	0	0	28,000	28,000
会 議 費	0	0	171,000	171,000
旅費交通費	0	0	354,000	354,000
役員費	0	0	143,000	143,000
通信運搬費	0	0	111,000	111,000
減価償却費	0	0	0	0
消耗什器備品費	0	0	1,000	1,000
消耗品費	0	0	41,000	41,000
印刷製本費	0	0	27,000	27,000
新聞・図書費	0	0	10,000	10,000
修繕維持費	0	0	85,000	85,000
賃借料	0	0	354,000	354,000
支払手数料	0	0	526,000	526,000
租税公課	0	0	2,000	2,000
支払負担金	0	0	803,000	803,000
支払利息	0	0	0	0
雑 費	0	0	90,000	90,000
<b>経常費用計 ②</b>	<b>32,332,000</b>	<b>1,228,000</b>	<b>5,446,000</b>	<b>39,006,000</b>
当期経常増減額 ①-②=③	△ 2,928,000	△ 93,000	△ 593,000	△ 3,614,000
<b>2. 経常外増減の部</b>				
(1)経常外収益				
経常外収益計 ④	0	0	0	0
(2)経常外費用				
経常外費用計 ⑤	0	0	0	0
当期経常外増減額 ④-⑤=⑥	0	0	0	0
当期一般財産増減額 ③+⑥=⑦	△ 2,928,000	△ 93,000	△ 593,000	△ 3,614,000
一般正味財産期首残高 ⑧	37,781,000	99,000	1,982,000	39,862,000
一般正味財産期末残高 ⑦+⑧=⑨	<b>34,853,000</b>	<b>6,000</b>	<b>1,389,000</b>	<b>36,248,000</b>
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
当期指定正味財産増減額 ⑩	0	0	0	0
指定正味財産期首残高 ⑪	1,000,000		0	1,000,000
指定正味財産期末残高 ⑩+⑪=⑫	<b>1,000,000</b>		<b>0</b>	<b>1,000,000</b>
<b>III 正味財産期末残</b> ⑨+⑫	<b>35,853,000</b>	<b>6,000</b>	<b>1,389,000</b>	<b>37,248,000</b>